



ハードウェア リファレンス ガイド

HP EliteDesk 705 G4 デスクトップ ミニ型

© Copyright 2018 HP Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。ここに記載されている情報のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。ここに記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、ここに記載されている情報の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2018年6月

製品番号：L17238-291

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。**[ユーザーガイド]**を選択します。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用するによって、お客様は HP 使用許諾契約 (EULA) の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品 (付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア) を 14 日以内に返品し、販売店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの代金の返金を要求する場合は、販売店に問い合わせてください。

このガイドについて

このガイドでは、HP EliteDesk Business PC の機能およびハードウェアのアップグレードの基本的な作業手順などについて説明します。

 **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある**危険な状況を示します。

 **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある**危険な状況を示します。

 **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（モニターの損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。

 **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。

 **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。

目次

1 製品の特長	1
標準構成の機能	1
フロントパネルの各部	2
リアパネルの各部	3
シリアル番号の記載位置	4
2 設置	5
横置きから縦置きへの変更	5
固定器具へのコンピューターの取り付け	6
セキュリティロックの取り付け	7
電源コードの接続	8
3 ハードウェアのアップグレード	9
保守機能	9
警告および注意	9
コンピューターのアクセスパネルの取り外し	10
コンピューターのアクセスパネルの取り付け	11
システムメモリのアップグレード	12
メモリモジュールの仕様	12
メモリモジュールの取り付け	13
ハードディスクドライブの取り外し	18
ハードディスクドライブの取り付け	19
M.2 PCIe ソリッドステートドライブ (SSD) の交換	21
無線 LAN モジュールの交換	28
外付けアンテナの取り付け	35
電池の交換	42
オプションの無線キーボードおよびマウスの同期	48
付録 A 静電気対策	51
静電気による損傷の防止	51

アース（接地）の方法	51
付録 B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意	52
コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意	52
運搬時の注意	53
付録 C ユーザー サポート	54
サポートされている支援技術	54
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	54
索引	55

1 製品の特長

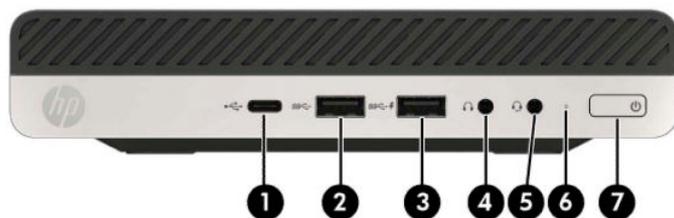
標準構成の機能

コンピューターの機能は、モデルによって異なる場合があります。お使いのモデルのコンピューターに関するサポートが必要な場合や取り付けられているハードウェアおよびインストールされているソフトウェアの詳細を確認する場合は、[HP Support Assistant]ユーティリティを実行してください。

 **注記：**このモデルのコンピューターは、縦置きおよび横置きのどちらでも使用できます。スタンドは別売です。



フロントパネルの各部



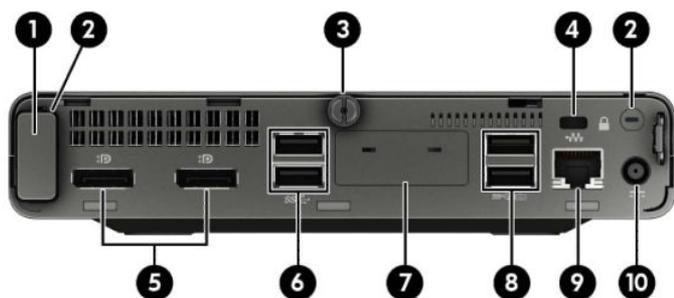
フロントパネルの各部

1	 USB Type-C ポート	5	 オーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボ コネクタ
2	 USB SuperSpeed ポート	6	ハードディスク ドライブ ランプ
3	 USB SuperSpeed ポート (HP スリープおよび充電機能付き)	7	 電源ボタン
4	 オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ		

注記： USB SuperSpeed ポート（HP スリープおよび充電機能付き）は、スマートフォンなどのデバイスも充電できます。電源コードがコンピューターに接続されていれば、コンピューターの電源が切られている場合でも充電できます。

オーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コンボ コネクタは、ヘッドフォン、ライン出力デバイス、マイク、ライン入力デバイス、または CTIA 規格準拠のヘッドセットに対応しています。

リアパネルの各部

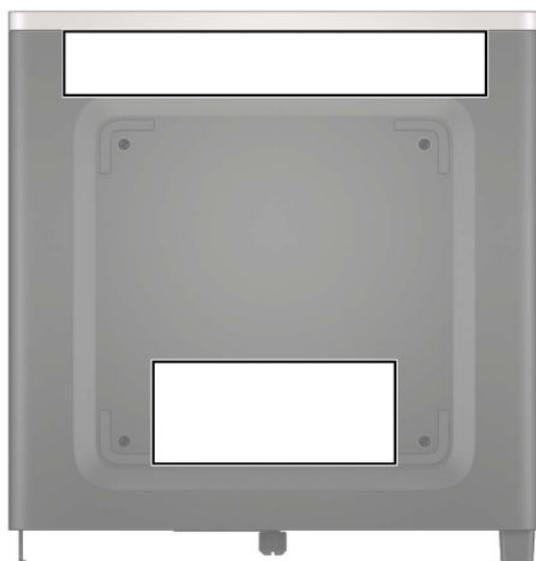


リアパネルの各部

1	アンテナカバー	6		USB SuperSpeed ポート (×2)
2	外付けアンテナの位置	7		オプションのコネクタ
3	アクセスパネルのネジ	8		USB SuperSpeed ポート (オプションの キーボード電源投入サポート機能付 き) (×2)
4	 セキュリティロックケーブル用ス ロット	9		RJ-45 (ネットワーク) コネクタ
5	 DisplayPort モニター コネクタ (×2)	10		電源コネクタ

シリアル番号の記載位置

各コンピューターの外側には、固有のシリアル番号ラベルおよび製品識別番号ラベルが貼付されています。HP のサポート窓口にお問い合わせになる場合は、これらの番号をお手元に用意しておいてください。



2 設置

横置きから縦置きへの変更

コンピューターは、HP から購入できるオプションの縦置き用スタンドを利用すれば、縦置き構成でも使用できます。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

5. コンピューターを右側面が上になるように立て、オプションのスタンドに取り付けます。



 **注記：**縦置きでのコンピューターの安定性を高めるために、付属の縦置き用スタンドを使用することをおすすめします。

6. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

 **注記**：通気を確保するため、コンピューターの周囲 10 cm 以内に障害物がないようにしてください。

7. コンピューターを移動する前に外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

固定器具へのコンピューターの取り付け

コンピューターを、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

 **注記**：この装置は、UL または CSA 規格に適合した取り付け器具で支えられるように設計されています。



1. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
2. コンピューターをスイングアーム（別売）に取り付けるには、4本のネジを、スイングアームプレートにある穴に通してからコンピューターのネジ穴に差し込みます。

 **重要**：このコンピューターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このコンピューターに他社製の固定器具を取り付けるには、その器具に付属のネジを使用してください。また、取り付けの固定器具が VESA 基準に準拠していることと、コンピューターの質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、コンピューターに付属の電源コードおよびその他のケーブルを使用してください。

コンピューターを他の固定器具に取り付けるには、固定器具に付属の説明書に沿って操作して、コンピューターを安全に取り付けてください。

セキュリティ ロックの取り付け

コンピューターの背面にセキュリティ ロック ケーブルを取り付けることができます。ロックの取り付けおよび取り外しには、付属の鍵を使用します。



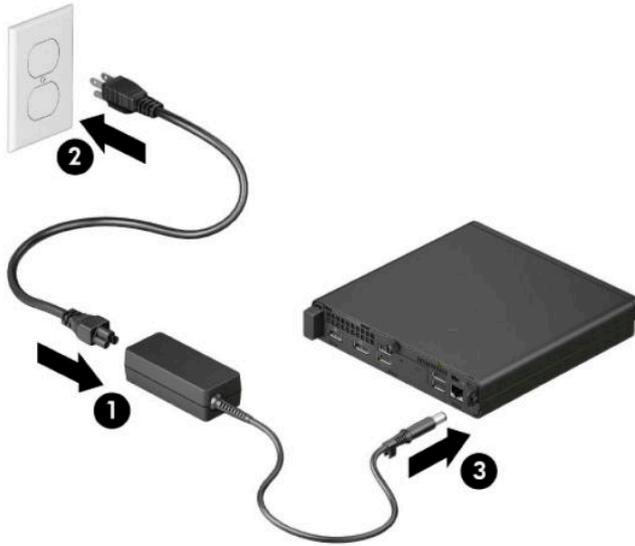
南京錠を取り付けるには、コンピューターの背面から施錠用ループを引き出し、ループに南京錠を取り付けます。



 **注記：**ロック ケーブルおよび南京錠に抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

電源コードの接続

電源コードの一方の端を外部電源アダプターに接続し (1)、もう一方の端をアース (接地) された電源コンセントに接続して (2)、電源コードの丸い端をコンピューターの電源コネクタに接続します (3)。



3 ハードウェアのアップグレード

保守機能

このコンピューターには、アップグレードおよび保守を容易にする機能が組み込まれています。この章で説明する取り付け手順の一部では、T-15 型ドライバーまたはマイナスドライバーが必要です。

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

⚠ 警告！ 感電、火傷、火災などの危険がありますので、以下の点に注意してください。

- 作業を行う前に、電源コードを電源コンセントから抜き、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してください。
- 電話回線のモジュラー ジャックを本体の背面のネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース (接地) してください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から[日本語]を選択することで表示できます。

⚠ 警告！ 内部には通電する部品や可動部品が含まれています。

カバーやパネル等を取り外す前に、電源コードをコンセントから抜き、装置への外部電源の供給を遮断してください。

装置を再び外部電源に接続する前に、取り外したカバーやパネル等を元の位置にしっかりと取り付けなおしてください。

📄 重要： 静電気の放電によって、コンピューターや別売の電気部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまっていた静電気を放電してください。詳しくは、[51 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

コンピューターが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

 **注記**：お使いのモデルのコンピューターの外観は、この章の図と若干異なる場合があります。

コンピューターのアクセスパネルの取り外し

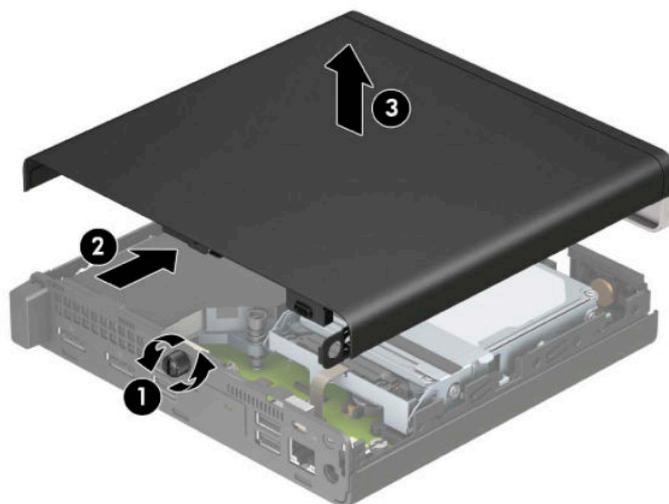
内部部品にアクセスするには、アクセスパネルを以下の手順で取り外す必要があります。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要**：システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターの背面にあるつまみネジを取り外します (1)。次に、パネルを前方にスライドさせてから (2)、持ち上げてコンピューターから取り外します (3)。

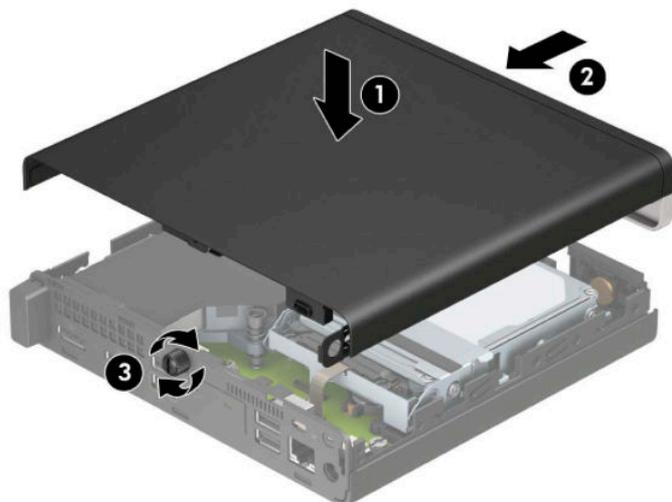
 **注記**：必要であれば、T-15 型またはマイナスのネジ回しを使用してつまみネジを緩めることもできます。



 **注記**：お使いのモデルのコンピューターの外観は、このセクションの図と若干異なる場合があります。一部のモデルでは、アクセスパネルに通気孔があります。

コンピューターのアクセスパネルの取り付け

アクセスパネルをコンピューターの上に置き (1)、後方にスライドさせます (2)。次に、つまみネジを取り付け (3)、パネルを所定の位置に固定します。



 **注記：**お使いのモデルのコンピューターの外観は、このセクションの図と若干異なる場合があります。一部のモデルでは、アクセスパネルに通気孔があります。

システムメモリのアップグレード

お使いのコンピューターは、少なくとも1つのスモールアウトラインデュアルインラインメモリモジュール (SODIMM) を装備しています。システムボードに最大 32 GB までメモリを増設できます。

メモリモジュールの仕様

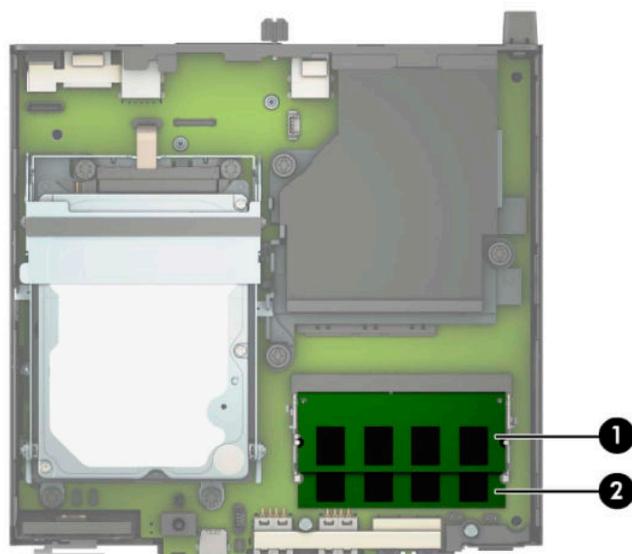
システムのパフォーマンスを最大まで高めるには、以下の仕様を満たすメモリモジュールを使用することをおすすめします。

項目	仕様
メモリモジュール	1.2 ボルト DDR4-SDRAM メモリモジュール
準拠	アンバッファード非 ECC PC4-19200 DDR4-2400 MHz 準拠
ピン	JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している業界標準 260 ピン
サポート	CAS レイテンシ 17 (DDR4-2400 MHz、17-17-17 タイミング) をサポートしている
スロット	2
最大メモリ	32
サポート対象	2 ギガビット、4 ギガビット、8 ギガビット、および 16 ギガビットの非 ECC メモリ テクノロジ片面および両面メモリモジュール
注	サポートされないメモリモジュールが取り付けられている場合、システムは正常に動作しません。x8 および x16 の DDR デバイスで構成されたメモリモジュールがサポートされます。x4 SDRAM で構成されたメモリモジュールはサポートされません。

HP では、このコンピューター用のアップグレードメモリを提供しています。サポートされていない他社のメモリとの互換性の問題を回避するために、HP が提供するメモリを購入することをおすすめします。

メモリモジュールの取り付け

システムボードには2つのメモリモジュールスロットがあり、1つのチャンネルについて1つのスロットがあります。スロットには、DIMM1 および DIMM3 の番号が付けられています。DIMM1 スロットはメモリチャンネルBで動作し、DIMM3 スロットはメモリチャンネルAで動作します。



番号	説明	システムボード上の表記	スロットの色
1	メモリモジュールスロット、チャンネルA	DIMM3	黒
2	メモリモジュールスロット、チャンネルB	DIMM1	黒

取り付けられているメモリモジュールに応じて、システムは自動的にシングルチャンネルモード、デュアルチャンネルモード、またはフレックスモードで動作します。

- 1つのチャンネルのスロットにのみメモリモジュールが取り付けられている場合、システムはシングルチャンネルモードで動作します。
- チャンネルAのメモリモジュールの合計メモリ容量とチャンネルBのメモリモジュールの合計メモリ容量が等しい場合、システムはより高性能なデュアルチャンネルモードで動作します。
- チャンネルAのメモリモジュールのメモリ容量とチャンネルBのメモリモジュールのメモリ容量が異なる場合、システムはフレックスモードで動作します。フレックスモードでは、最も容量の小さいメモリが取り付けられているチャンネルがデュアルチャンネルに割り当てられるメモリの総量を表し、残りはシングルチャンネルに割り当てられます。1つのチャンネルのメモリ容量が他方よりも多い場合は、多い方をチャンネルAに割り当てる必要があります。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅いメモリモジュールによって決定されます。

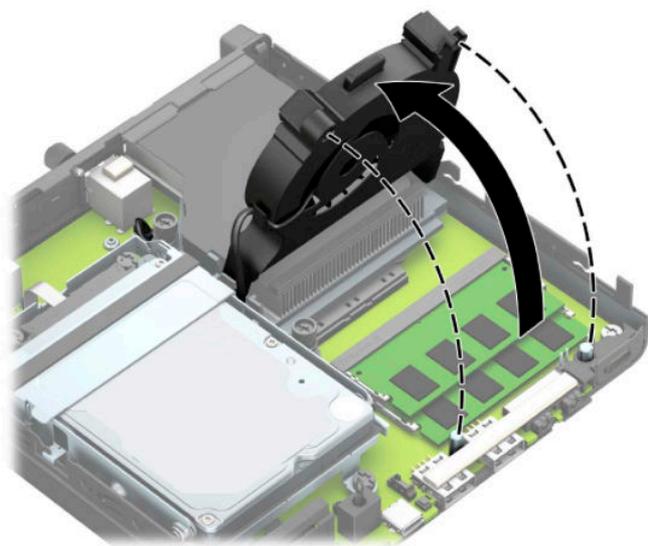
 **重要**：メモリ モジュールの取り付けまたは取り外しを行う場合は、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリ モジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリ モジュールの着脱を行うと、メモリ モジュールまたはシステムボードを完全に破損するおそれがあります。

お使いのメモリ モジュール スロットの接点には、金メッキが施されています。メモリを増設する場合は、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐために、金メッキされたメモリ モジュールを使用してください。

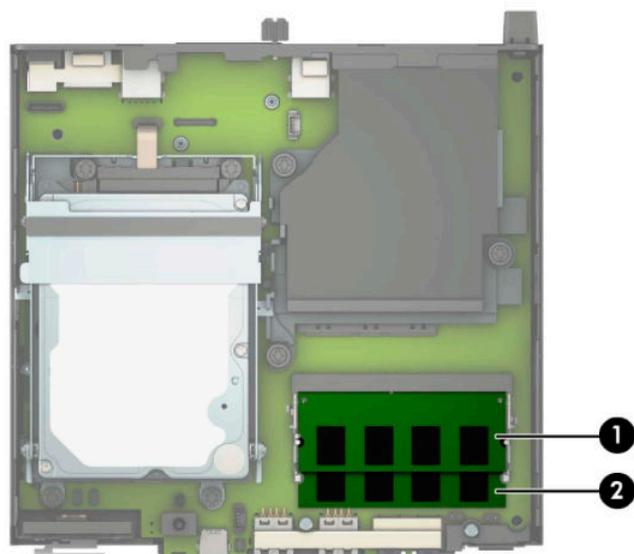
静電気の放電によって、コンピューターやオプションカードの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アース（接地）された金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[51 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

メモリ モジュールを取り扱うときは、接点に触れないよう注意してください。接点に触れると、モジュールを損傷するおそれがあります。

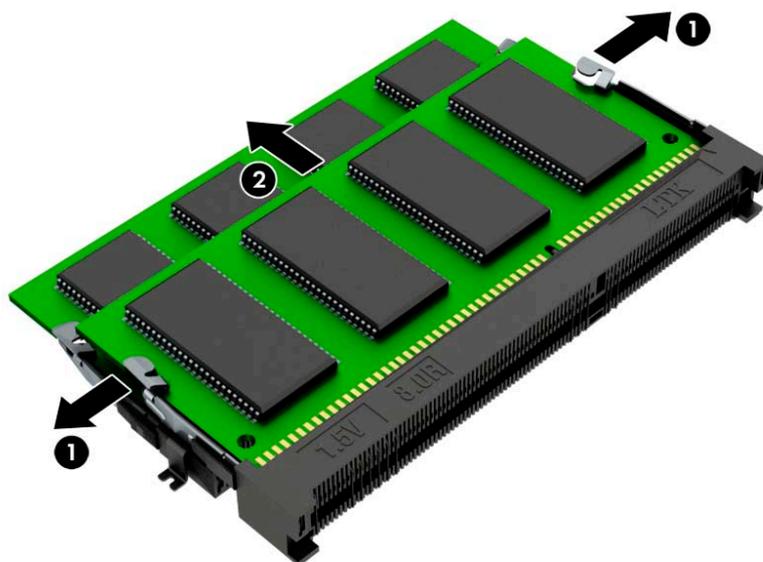
1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターのアクセスパネルを取り外します。
手順については、[10 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。
7. フロントタブを使用してファンを上に向け、上向きの位置のままにします。



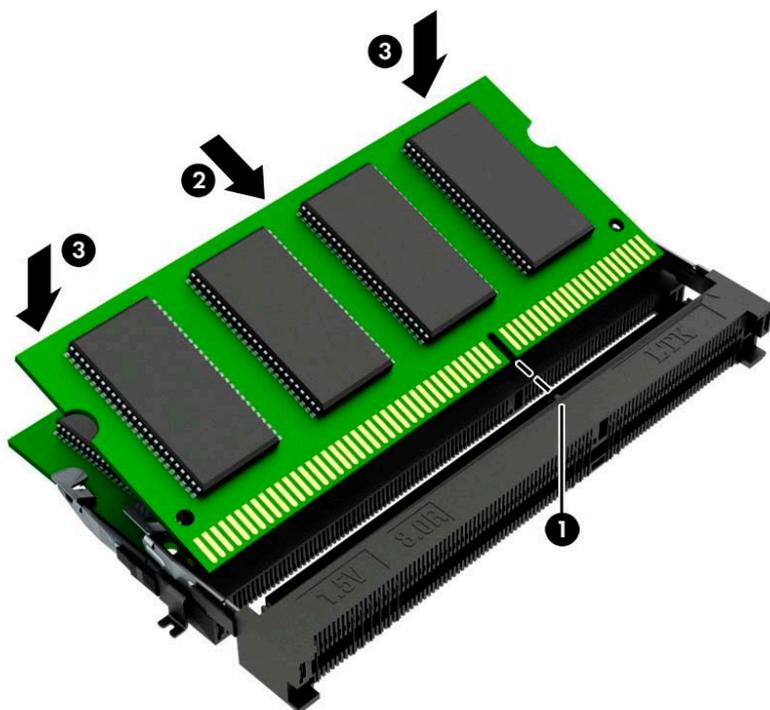
8. システムボード上のメモリモジュールの位置 (1) および (2) を確認します。



9. メモリモジュールを取り出すには、メモリモジュールの両側にある2つのラッチを外側に押し (1)、スロットからメモリモジュールを引き出します (2)。

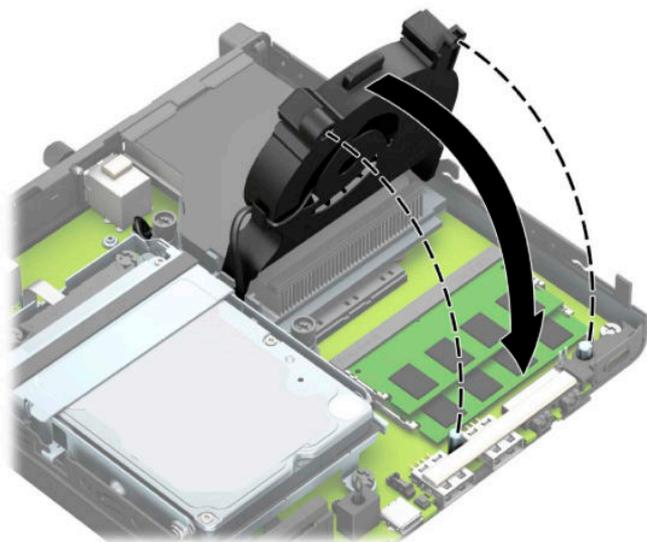


10. メモリ モジュールを取り付けるには、新しいメモリ モジュールの切り込みとメモリ スロットのタブ (1) を合わせます。メモリ モジュールを約 30°の角度でスロットに差し込み (2)、メモリ モジュールを押し下げて (3) ラッチを所定の位置に固定します。



 **注記**：メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。必ずメモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロットのタブを合わせてください。

11. ファンを下に傾けます。



12. アクセスパネルを取り付けなおします。

手順については、[11 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り付け](#)を参照してください。

13. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
14. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
15. コンピューターのカバーまたはアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

コンピューターの電源を入れたときに、新しいメモリが自動的に認識されます。

ハードディスクドライブの取り外し

 **注記:** ハードディスクドライブを取り外すときは、新しいハードディスクドライブにデータを移動できるように、必ず事前にハードディスクドライブ内のデータをバックアップしておいてください。

グラフィックスプロセッサを搭載したモデルには、ハードディスクドライブは搭載されていません。

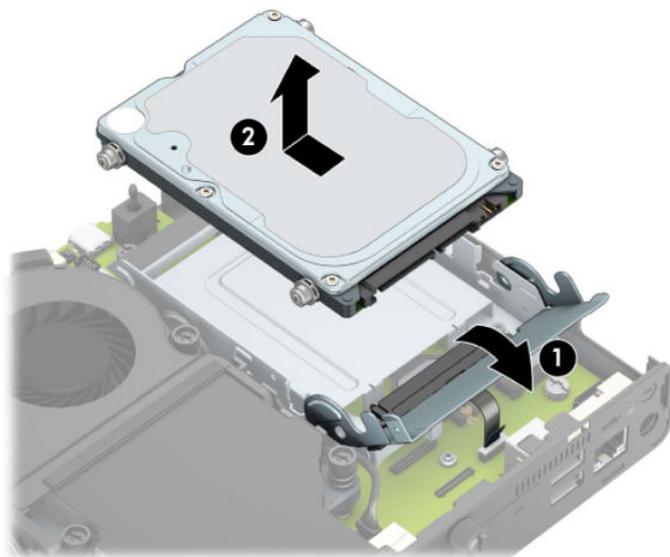
1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティデバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要:** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外します。
6. コンピューターのアクセスパネルを取り外します。

手順については、[10 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。

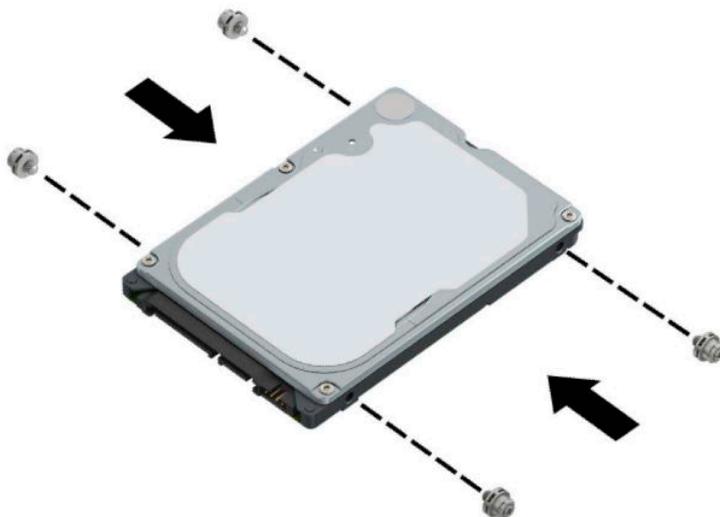
7. ハードディスクドライブを取り外すには、ハードディスクドライブラッチを上方向に回転させて (1)、ハードディスクドライブをケージから外します。次に、ハードディスクドライブをシャーシの後方にスライドさせ、ハードディスクドライブが止まったら、持ち上げてケージから取り外します (2)。



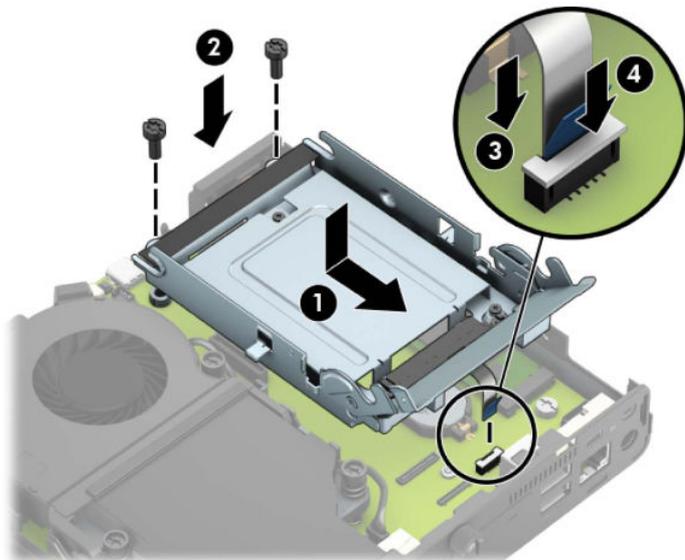
ハードディスクドライブの取り付け

 **注記**：ハードディスクドライブの取り外し手順について詳しくは、[18ページのハードディスクドライブの取り外し](#)を参照してください。

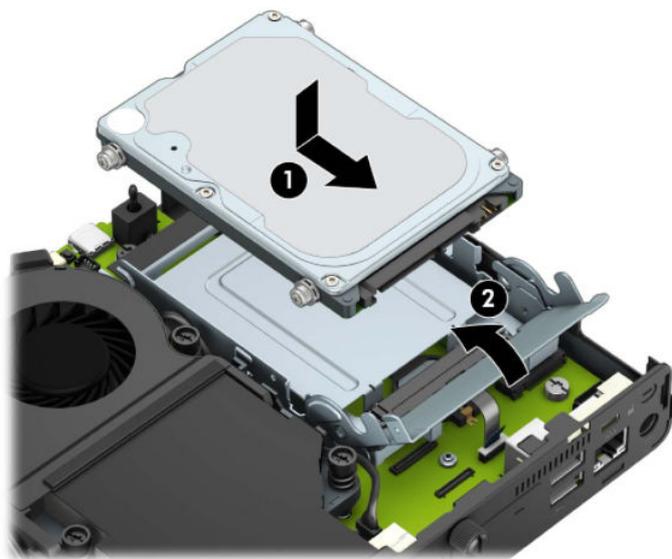
1. ハードディスクドライブを交換する場合は、4本の取り付けネジを古いハードディスクドライブから外し、新しいハードディスクドライブに取り付けます。



2. ハードディスクドライブを交換するのではなく新しく取り付ける場合は、ハードディスクドライブケースを取り付ける必要があります。ハードディスクドライブケースをシャーシに入れて、前方にスライドさせます (1)。2本のネジを取り付けてハードディスクドライブケースをシャーシに固定し (2)、ハードディスクドライブケーブルをシステムボードに接続します (3)。ハードディスクドライブケーブルクランプをシステムボードのコネクタに取り付けて、ケーブルを固定します (4)。



3. ハードディスクドライブの取り付けネジの位置をハードディスクドライブケースの-slotの位置に合わせてから、ハードディスクドライブを押し込んでドライブケースに差し込み、前方にスライドさせます (1)。次に、ハードディスクドライブラッチを下方向に回転させて (2)、ハードディスクドライブを取り付けます。



4. アクセスパネルを取り付けなおします。
手順については、[11 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り付け](#)を参照してください。
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。

6. 外付けデバイスを取り付けなおし、電源コードを差し込んで、コンピューターの電源を入れます。
7. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

M.2 PCIe ソリッドステートドライブ (SSD) の交換

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

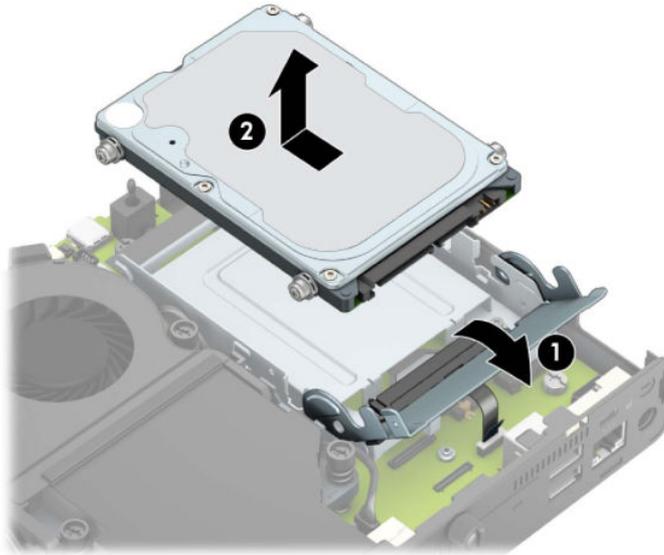
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターのアクセスパネルを取り外します。

手順については、[10 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。

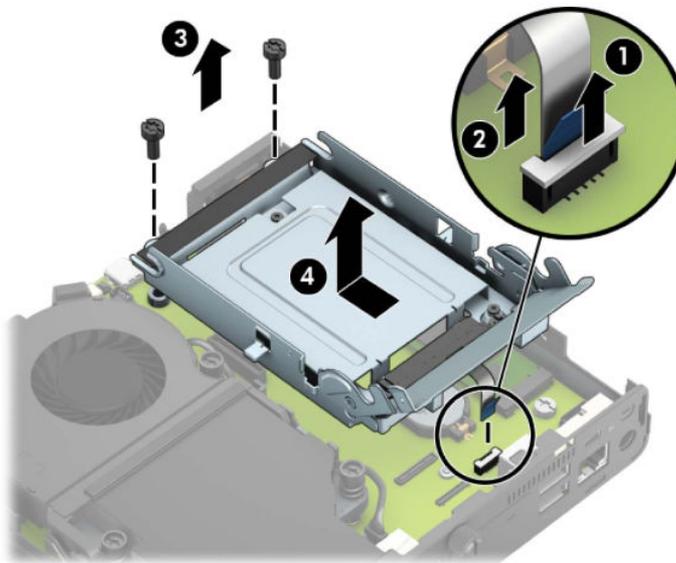
7. M.2 SSD にアクセスするには、お使いのモデルに応じてハードディスク ドライブ ケージまたはグラフィックス プロセッサを取り外す必要があります。

ハードディスク ドライブを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. ハードディスク ドライブ ラッチを上方向に回転させて (1)、ハードディスク ドライブをケージから外します。次に、ハードディスク ドライブをシャーシの後方にスライドさせ、ハードディスク ドライブが止まったら、持ち上げてケージから取り外します (2)。

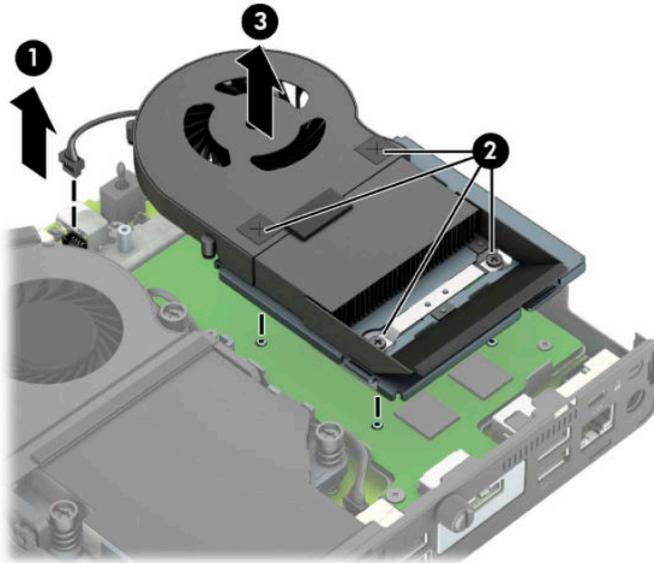


- b. ハードディスク ドライブ ケーブル クランプをシステム ボードのコネクタから取り外します (1)。ハードディスク ドライブ ケーブルのプル タブを使用してシステム ボードからケーブルを抜き取り (2)、ハードディスク ドライブ ケージをシャーシに固定している 2 本のネジを取り外します (3)。ハードディスク ドライブ ケージを後方にスライドさせ、持ち上げてシャーシから取り外します (4)。

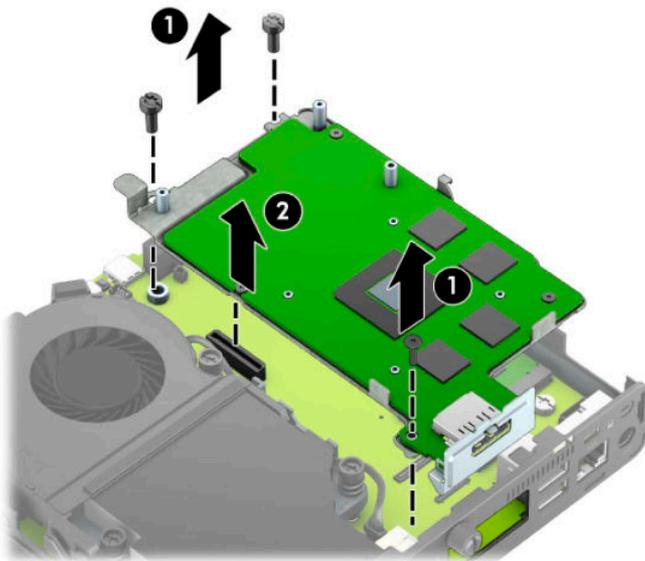


グラフィックスプロセッサを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

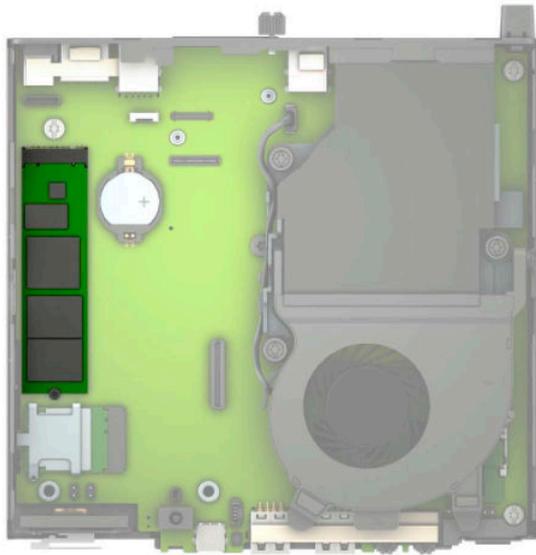
- a. ファンケーブルをシステムボードから取り外します (1)。ファンアセンブリの4本のネジ (2) を緩め、ファンアセンブリを持ち上げてシャーシから取り外します (3)。



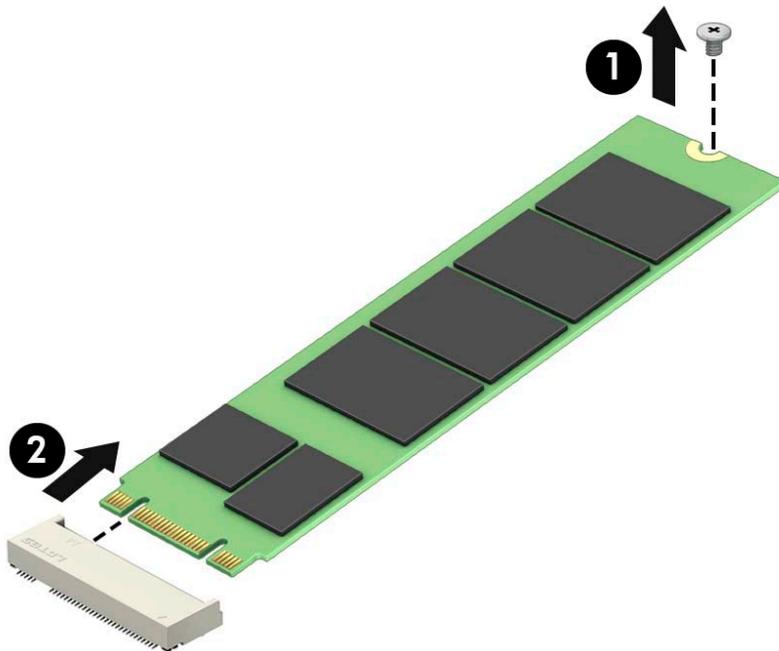
- b. グラフィックスプロセッサをシャーシに固定している3本のネジを取り外し (1)、グラフィックスプロセッサを持ち上げて、シャーシから取り外します (2)。



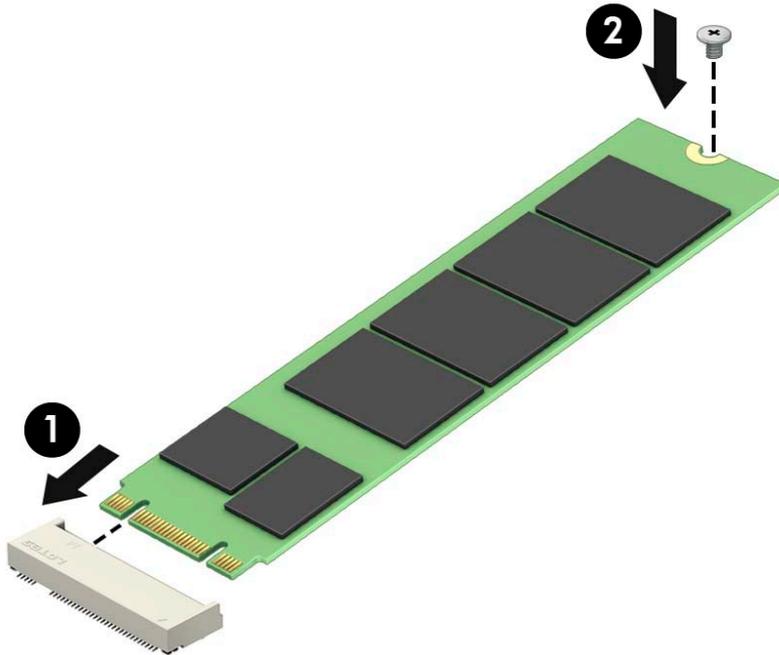
8. システムボード上の M.2 SSD の位置を確認します。



9. SSD をシステムボードに固定しているネジを取り外し (1)、SSD をシステムボードのソケットから引き出します (2)。



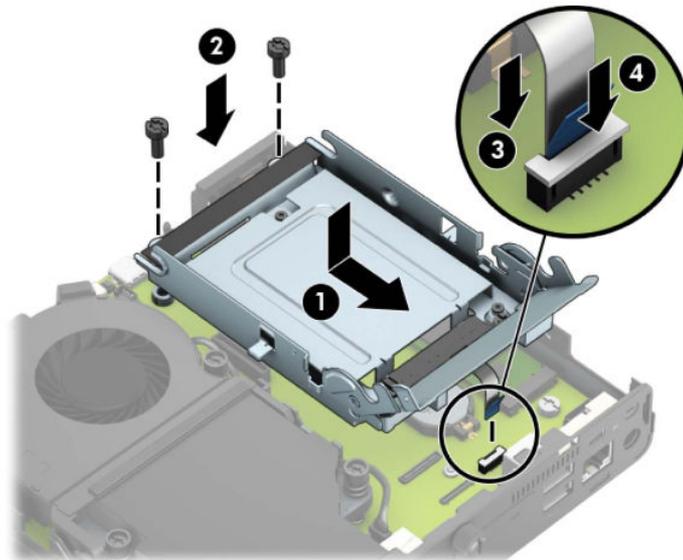
10. SSD のコネクタの端をスライドさせてシステム ボードのソケットに差し込み (1)、SSD をネジで固定します (2)。



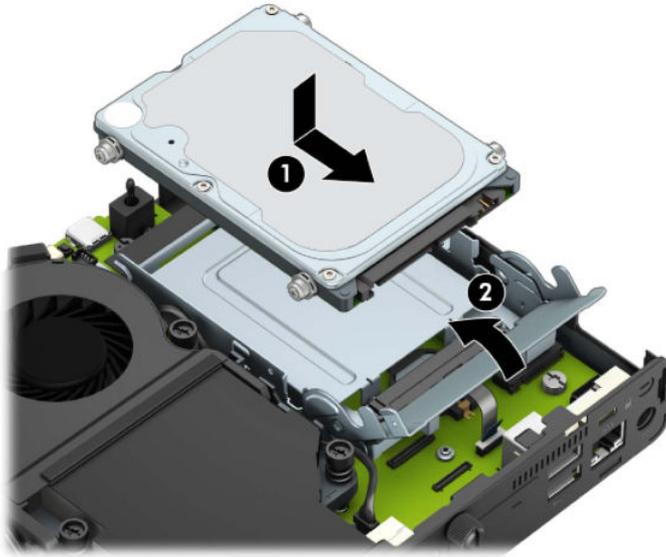
11. お使いのモデルに応じて、ハードディスクドライブ ケージまたはグラフィックス プロセッサを取り付けなおします。

ハードディスク ドライブを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. ハードディスク ドライブ ケージをシャーシに入れて、前方にスライドさせます (1)。2 本のネジを取り付けてハードディスク ドライブ ケージをシャーシに固定し (2)、ハードディスク ドライブ ケーブルをシステム ボードに接続します (3)。ハードディスク ドライブ ケーブル クランプをシステム ボードのコネクタに取り付けて、ケーブルを固定します (4)。

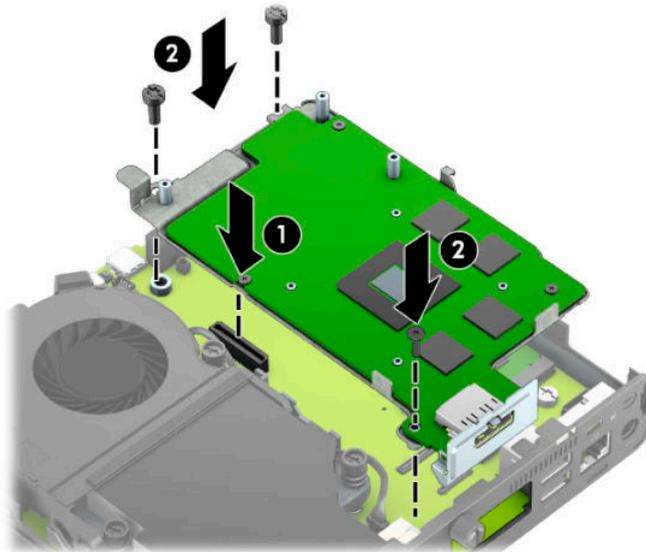


- b. ハードディスクドライブの取り付けネジの位置をハードディスクドライブケースのスロットの位置に合わせてから、ハードディスクドライブを押し込んでドライブケースに差し込み、前方にスライドさせます (1)。次に、ハードディスクドライブラッチを下方向に回転させて (2)、ハードディスクドライブを取り付けます。

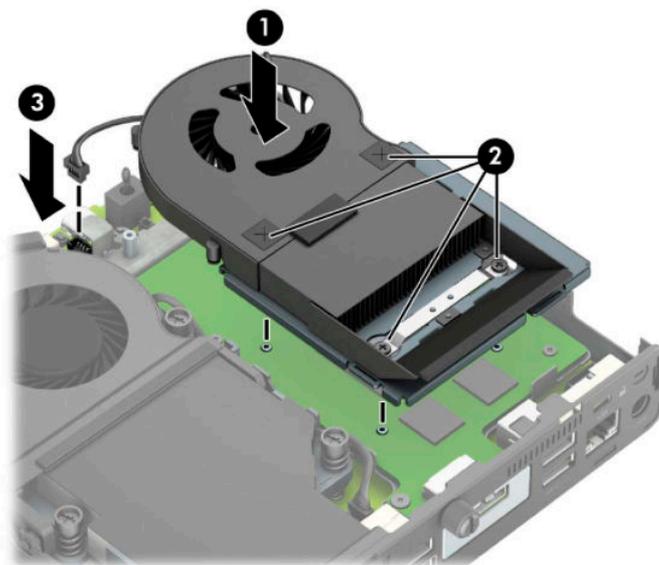


グラフィックスプロセッサを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. システムボードと接続されるようにグラフィックスプロセッサをシャーシに入れて (1)、グラフィックスプロセッサをシステムボードに3本のネジで固定します (2)。



- b. ファンアセンブリをグラフィックスプロセッサの上に置きます (1)。ファンアセンブリを4本のネジ (2) で固定し、ファンアセンブリケーブルをシステムボードに接続します (3)。



12. アクセスパネルを取り付けなおします。
手順については、[11 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り付け](#)を参照してください。
13. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
14. 外付けデバイスを取り付けなおし、電源コードを差し込んで、コンピューターの電源を入れます。
15. コンピューターのカバーまたはアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

無線 LAN モジュールの交換

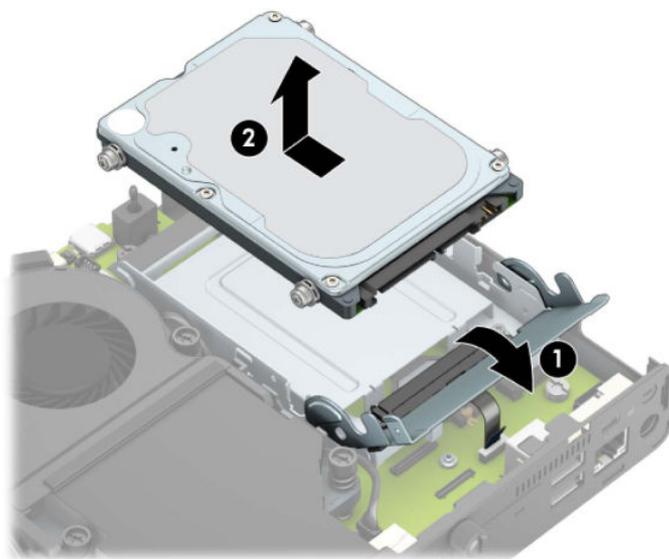
1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

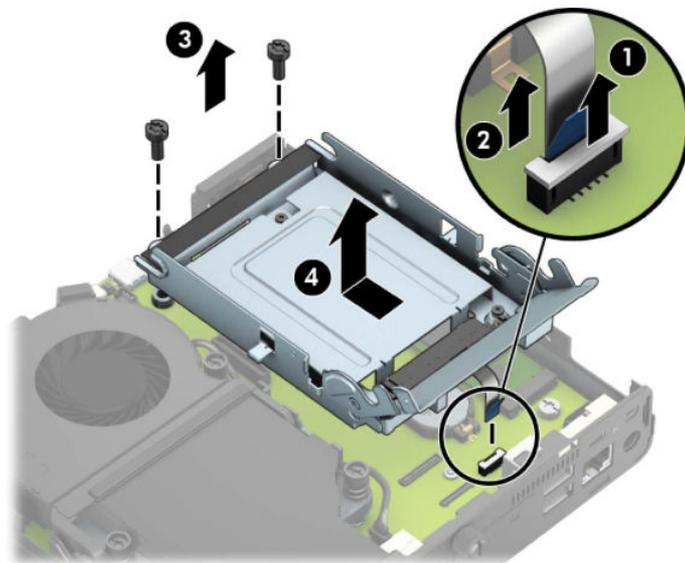
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターのアクセスパネルを取り外します。
手順については、[10 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。
7. 無線 LAN モジュールにアクセスするには、お使いのモデルに応じてハードディスク ドライブ ケージまたはグラフィックス プロセッサを取り外す必要があります。

ハードディスク ドライブを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. ハードディスク ドライブ ラッチを上方向に回転させて (1)、ハードディスク ドライブをケージから外します。次に、ハードディスク ドライブをシャーシの後方にスライドさせ、ハードディスク ドライブが止まったら、持ち上げてケージから取り外します (2)。

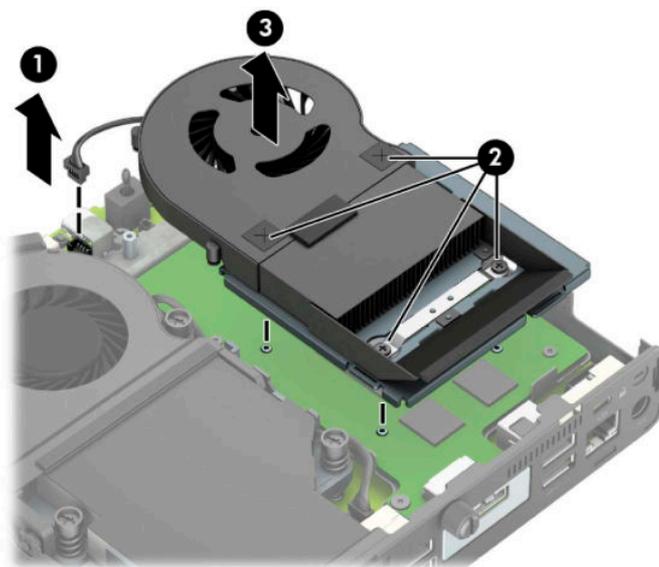


- b. ハードディスクドライブケーブルクランプをシステムボードのコネクタから取り外します (1)。ハードディスクドライブケーブルのプルタブを使用してシステムボードからケーブルを抜き取り (2)、ハードディスクドライブケースをシャーシに固定している 2 本のネジを取り外します (3)。ハードディスクドライブケースを後方にスライドさせ、持ち上げてシャーシから取り外します (4)。

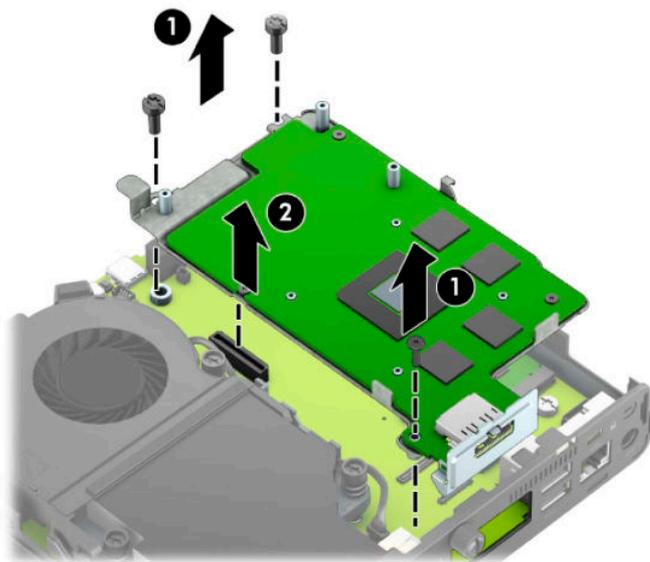


グラフィックスプロセッサを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

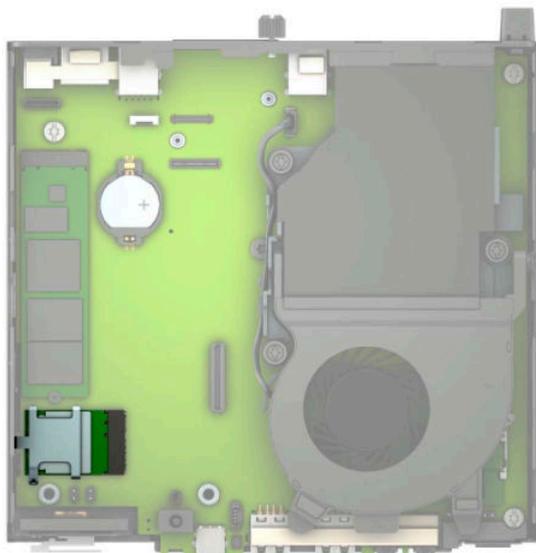
- a. ファンケーブルをシステムボードから取り外します (1)。ファンアセンブリの 4 本のネジ (2) を緩め、ファンアセンブリを持ち上げてシャーシから取り外します (3)。



- b. グラフィックスプロセッサをシャーシに固定している3本のネジを取り外し (1)、グラフィックスプロセッサを持ち上げて、シャーシから取り外します (2)。

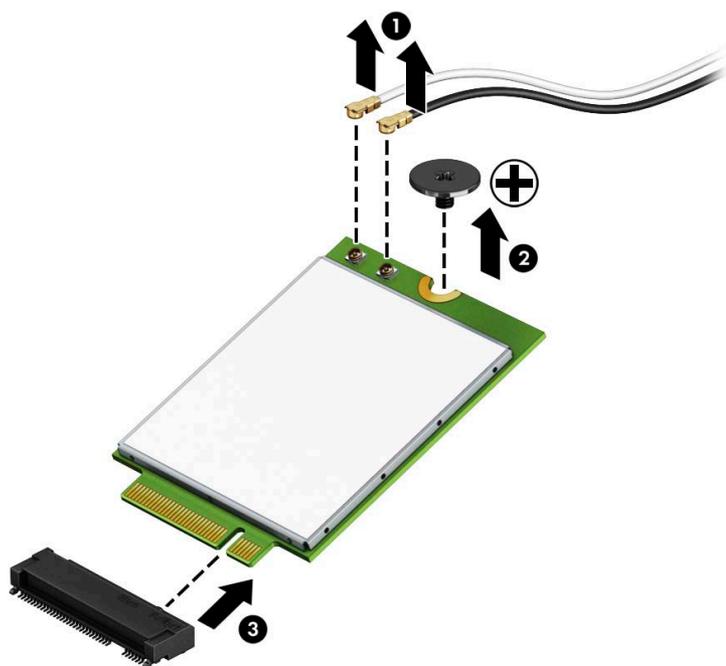


8. システムボード上の無線LANモジュールの位置を確認します。



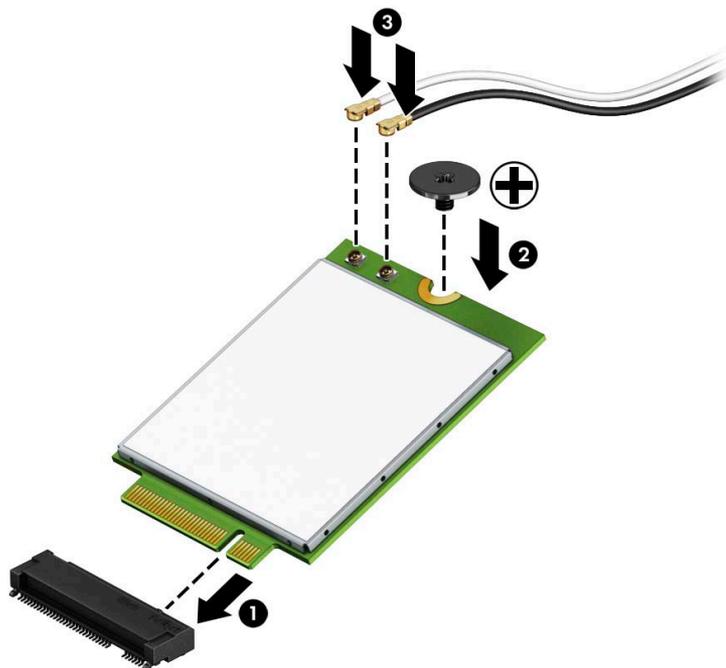
9. 無線 LAN モジュールから両方のアンテナケーブルを抜きます (1)。無線 LAN モジュールをシステムボードに固定しているネジを取り外し (2)、無線 LAN モジュールの側面を持ってソケットから引き出します (3)。

 **注記：** アンテナケーブルの抜き取りおよび接続には、ピンセットや小さいラジオペンチなど小型の工具が必要になる場合があります。



10. 新しい無線 LAN モジュールをシステムボードのソケットにしっかりと差し込み (1)、付属のネジでモジュールをシステムボードに固定します (2)。各アンテナケーブルのラベルを確認して、無線 LAN モジュール上の対応するコネクタにアンテナケーブルを接続します (3)。

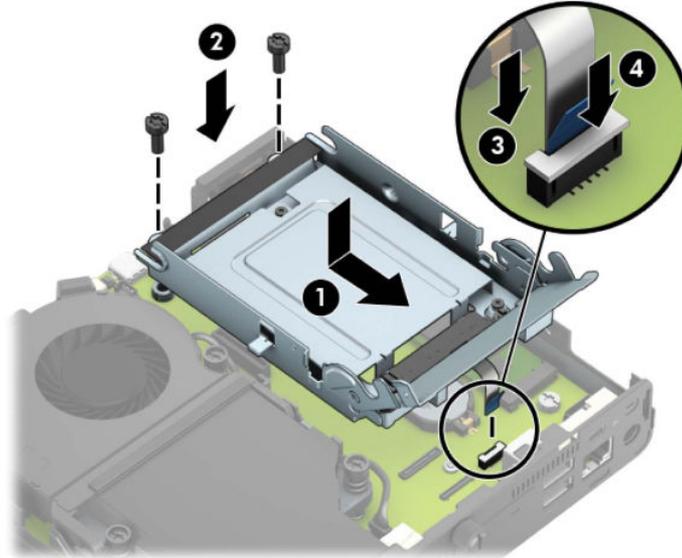
 **注記**：無線 LAN モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。



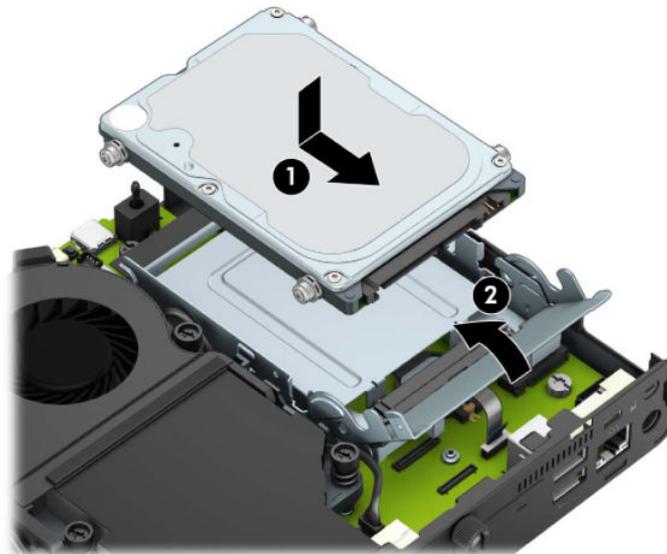
11. お使いのモデルに応じて、ハードディスクドライブケースまたはグラフィックスプロセッサを取り付けなおします。

ハードディスクドライブを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. ハードディスクドライブケースをシャーシに入れて、前方にスライドさせます (1)。2本のネジを取り付けてハードディスクドライブケースをシャーシに固定し (2)、ハードディスクドライブケーブルをシステムボードに接続します(3)。ハードディスクドライブケーブルクランプをシステムボードのコネクタに取り付けて、ケーブルを固定します (4)。

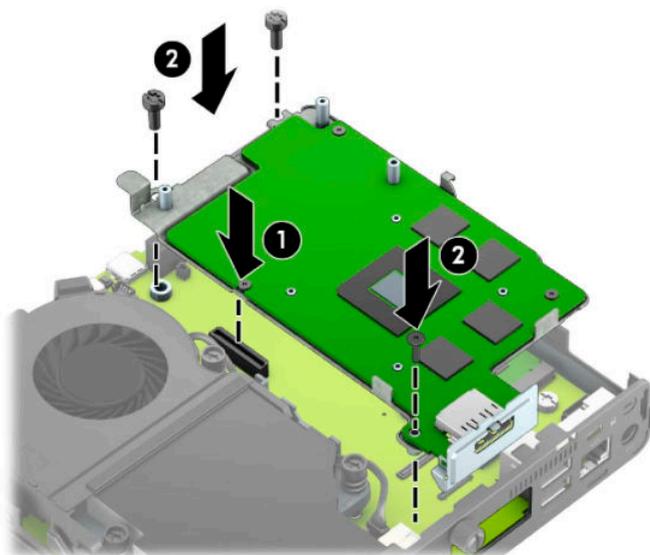


- b. ハードディスクドライブの取り付けネジの位置をハードディスクドライブケースのスロットの位置に合わせてから、ハードディスクドライブを押し込んでドライブケースに差し込み、前方にスライドさせます (1)。次に、ハードディスクドライブラッチを下方方向に回転させて (2)、ハードディスクドライブを取り付けます。

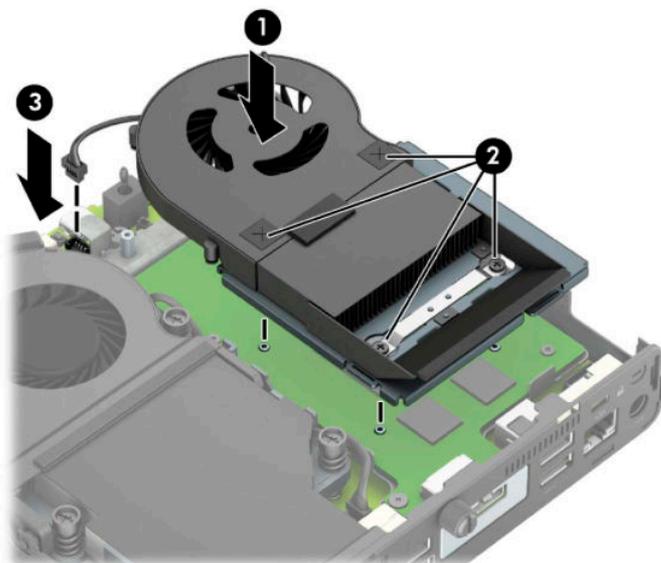


グラフィックスプロセッサを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. システムボードと接続されるようにグラフィックスプロセッサをシャーシに入れて (1)、グラフィックスプロセッサをシステムボードに3本のネジで固定します (2)。



- b. ファンアセンブリをグラフィックスプロセッサの上に置きます (1)。ファンアセンブリを4本のネジ (2) で固定し、ファンアセンブリケーブルをシステムボードに接続します (3)。



12. アクセスパネルを取り付けなおします。

手順については、[11 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り付け](#)を参照してください。

13. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
14. 電源コードを差し込んでコンピューターの電源を入れます。
15. コンピューターのカバーまたはアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティデバイスをすべて取り付けなおします。

外付けアンテナの取り付け

無線 LAN の内蔵アンテナは標準で装備されています。コンピューターを金属製のキオスクまたはその他のエンクロージャ内に設置する場合は、外付けの無線 LAN アンテナを使用する必要がある場合があります。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切つてから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

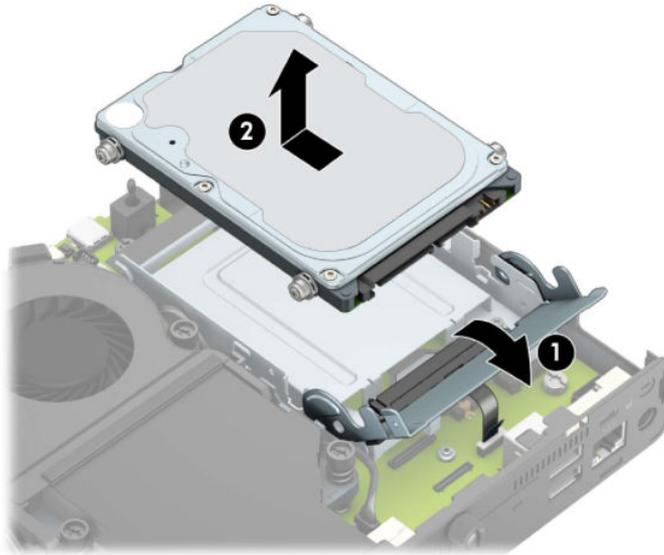
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターのアクセスパネルを取り外します。

手順については、[10 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。

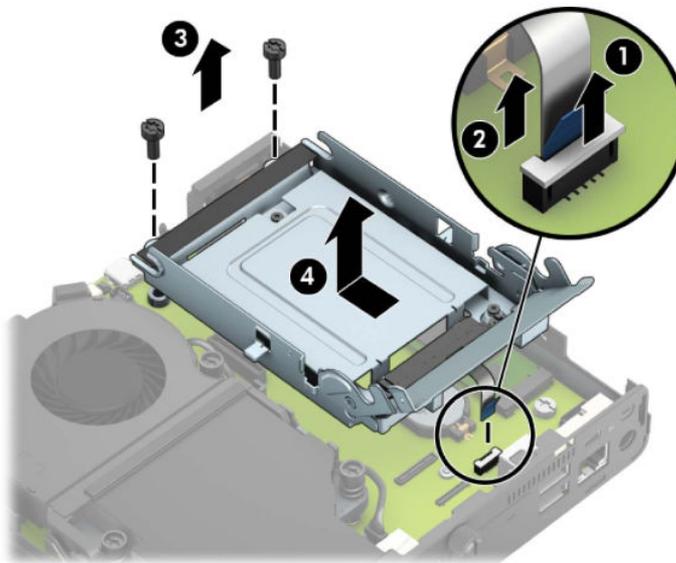
7. 無線 LAN モジュールにアクセスするには、お使いのモデルに応じてハードディスクドライブ ケージまたはグラフィックスプロセッサを取り外す必要があります。

ハードディスクドライブを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. ハードディスクドライブ ラッチを上方向に回転させて (1)、ハードディスクドライブを ケージから外します。次に、ハードディスクドライブをシャーシの後方にスライドさせ、ハードディスクドライブが止まったら、持ち上げてケージから取り外します (2)。

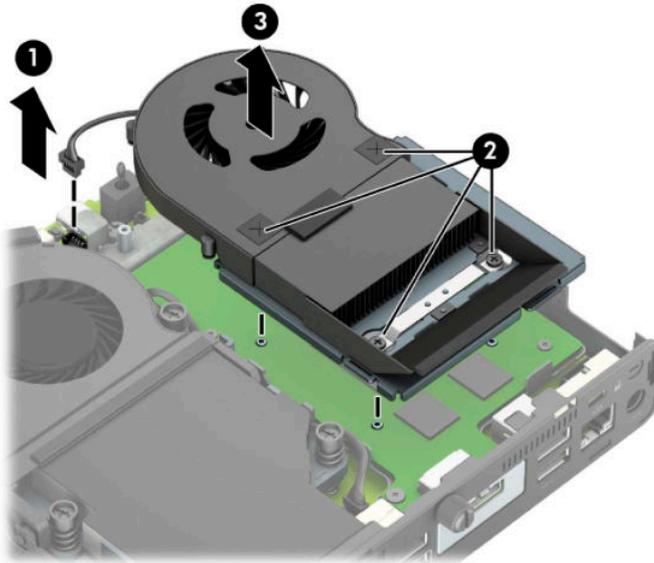


- b. ハードディスクドライブ ケーブル クランプをシステム ボードのコネクタから取り外します (1)。ハードディスクドライブ ケーブルのプル タブを使用してシステム ボードからケーブルを抜き取り (2)、ハードディスクドライブ ケージをシャーシに固定している 2 本のネジを取り外します (3)。ハードディスクドライブ ケージを後方にスライドさせ、持ち上げてシャーシから取り外します (4)。

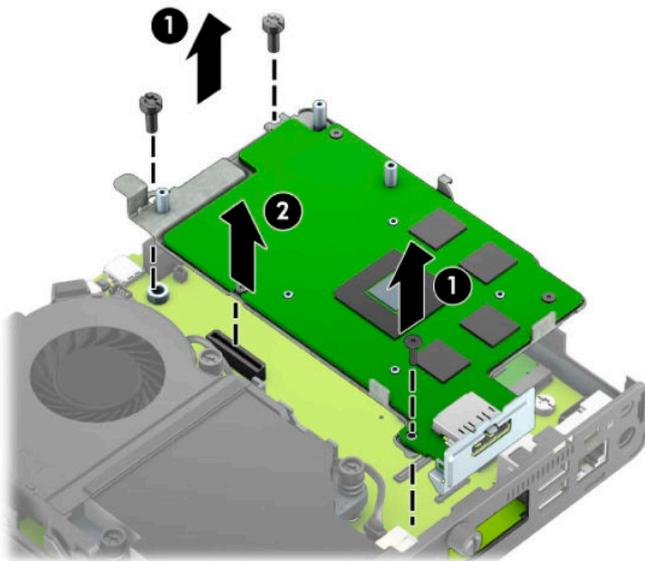


グラフィックスプロセッサを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

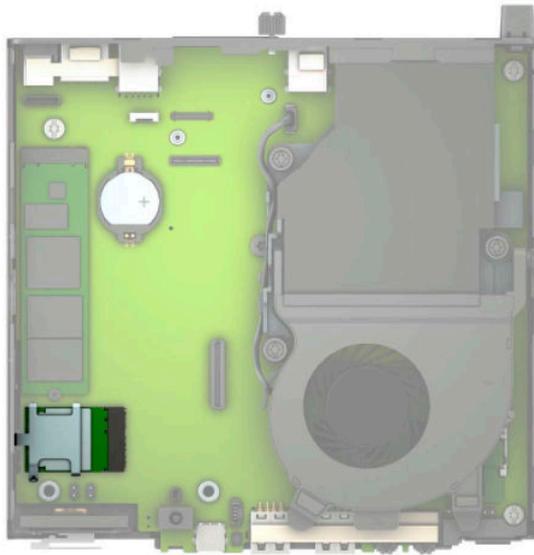
- a. ファンケーブルをシステムボードから取り外します (1)。ファンアセンブリの4本のネジ (2) を緩め、ファンアセンブリを持ち上げてシャーシから取り外します (3)。



- b. グラフィックスプロセッサをシャーシに固定している3本のネジを取り外し (1)、グラフィックスプロセッサを持ち上げて、シャーシから取り外します (2)。



8. システムボード上の無線 LAN モジュールの位置を確認します。



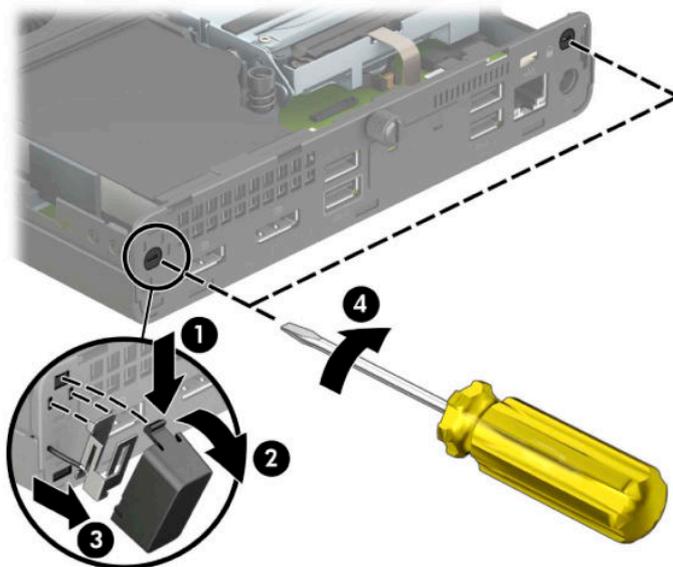
9. 無線 LAN モジュールから内蔵アンテナケーブルを取り外します。

詳しくは、[28 ページの無線 LAN モジュールの交換](#)を参照してください。

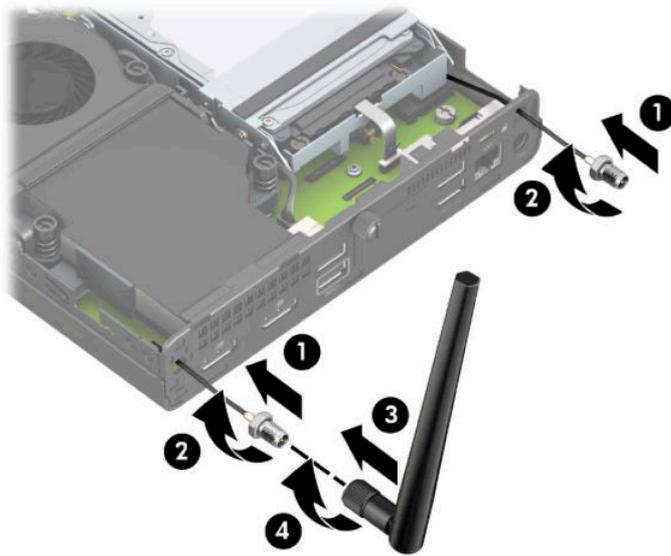
10. シャーシの背面にある両方の外付けアンテナの位置を確認します。

11. リアパネルの左側にあるアンテナ用の穴にアクセスするには、アンテナカバーを下に押し (1)、パネルからカバーを取り外します (2)。シャーシから内蔵アンテナを取り外し (3)、内蔵アンテナケーブルをシャーシから取り出します。次に、マイナスのネジ回しをそれぞれの穴に差し込んで回転させ、ブラックを取り外します (3)。

 **注記：** シャーシから内蔵アンテナケーブルを取り出すために、小さいラジオペンチが必要になる場合があります。



12. 外付けアンテナのケーブルをそれぞれの穴に通し (1)、アンテナを回転させて所定の位置に取り付けます (2)。延長アンテナを取り付け (3)、ネジで留めます (4)。

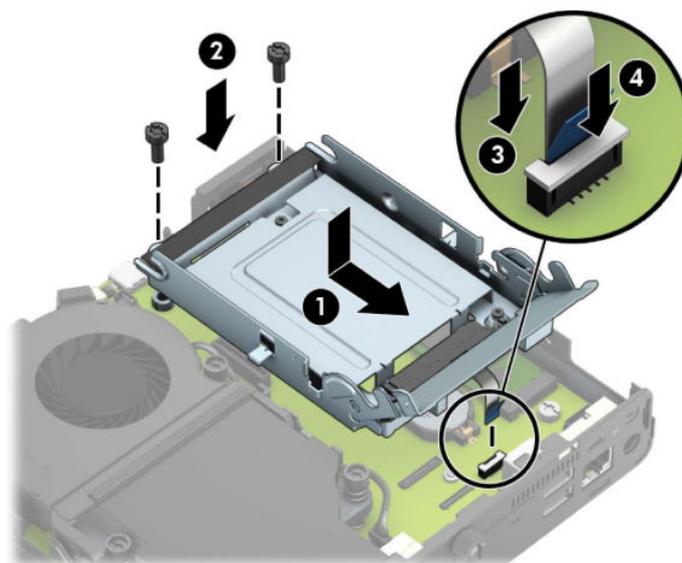


13. 外付けアンテナのケーブルを無線 LAN モジュールに接続します。アンテナ ケーブルを接続するときは、必ずアンテナ ケーブルのラベルを確認して、無線 LAN モジュール上の対応するコネクタに接続します。

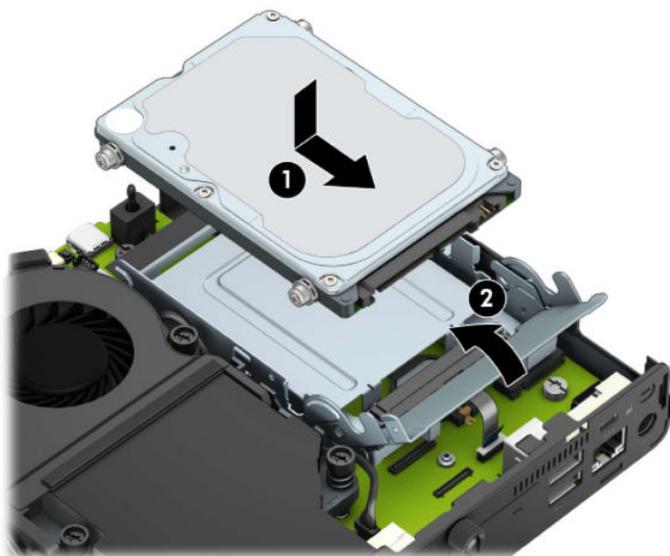
14. お使いのモデルに応じて、ハードディスク ドライブ ケージまたはグラフィックス プロセッサを取り付けなおします。

ハードディスク ドライブを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. ハードディスク ドライブ ケージをシャーシに入れて、前方にスライドさせます (1)。2 本のネジを取り付けてハードディスク ドライブ ケージをシャーシに固定し (2)、ハードディスク ドライブ ケーブルをシステム ボードに接続します (3)。ハードディスク ドライブ ケーブル クランプをシステム ボードのコネクタに取り付けて、ケーブルを固定します (4)。

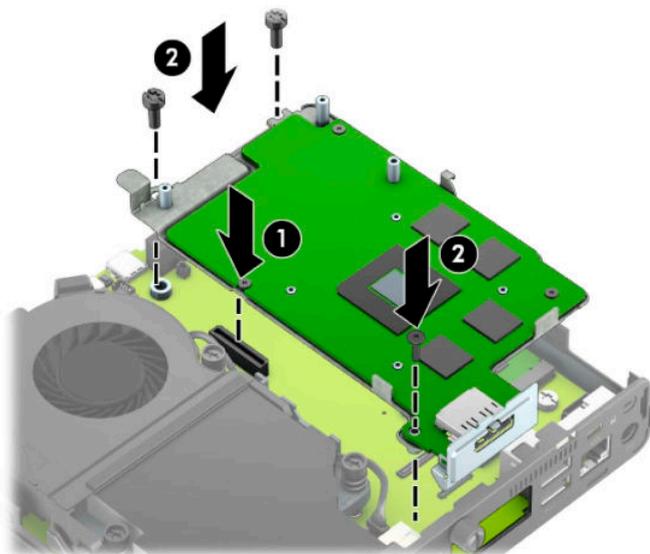


- b. ハードディスクドライブの取り付けネジの位置をハードディスクドライブケースのスロットの位置に合わせてから、ハードディスクドライブを押し込んでドライブケースに差し込み、前方にスライドさせます (1)。次に、ハードディスクドライブラッチを下方向に回転させて (2)、ハードディスクドライブを取り付けます。

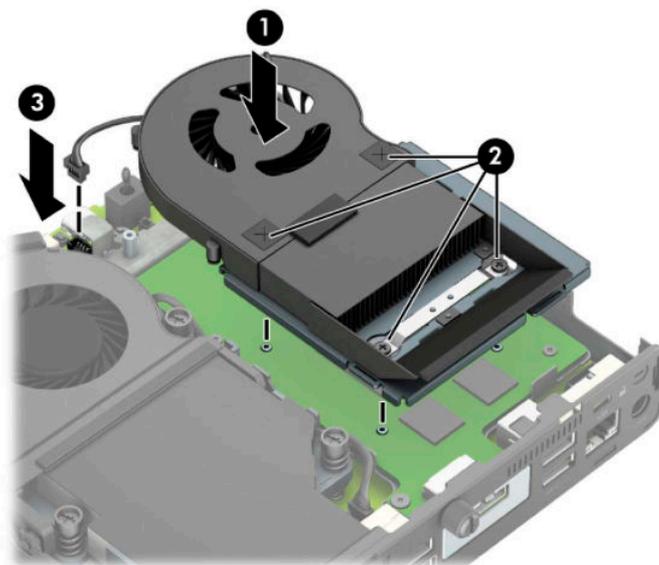


グラフィックスプロセッサを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. システムボードと接続されるようにグラフィックスプロセッサをシャーシに入れて (1)、グラフィックスプロセッサをシステムボードに3本のネジで固定します (2)。



- b. ファンアセンブリをグラフィックスプロセッサの上に置きます (1)。ファンアセンブリを4本のネジ (2) で固定し、ファンアセンブリケーブルをシステムボードに接続します (3)。



15. アクセスパネルを取り付けなおします。
手順については、[11 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り付け](#)を参照してください。
16. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
17. 電源コードを差し込んでコンピューターの電源を入れます。
18. コンピューターのカバーまたはアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

電池の交換

お使いのコンピューターに付属の電池は、リアルタイムクロックに電力を供給するためのものです。電池は消耗品です。電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていたものと同等の電池を使用してください。コンピューターに付属の電池は、3Vのボタン型リチウム電池です。

⚠ 警告！ お使いのコンピューターには、二酸化マンガンリチウム電池が内蔵されています。電池の取り扱いを誤ると、火災や火傷などの危険があります。けがをすることがないように、以下の点に注意してください。

- 電池を充電しないでください。
- 電池を 60°C を超える場所に放置しないでください。
- 電池を分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていた電池と同等の電池を使用してください。

📄 重要： 電池を交換する前に、コンピューターの CMOS 設定のバックアップを作成してください。電池が取り出されたり交換されたりするときに、CMOS 設定がクリアされます。

静電気の放電によって、コンピューターやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アース（接地）された金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

📄 注記： リチウム電池の寿命は、コンピューターを電源コンセントに接続することで延長できます。リチウム電池は、コンピューターが外部電源に接続されていない場合のみ使用されます。

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インクカートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/hardwarerecycle/> を参照してください。日本以外の国や地域の HP でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/recycle/>（英語サイト）を参照してください。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

📄 重要： システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

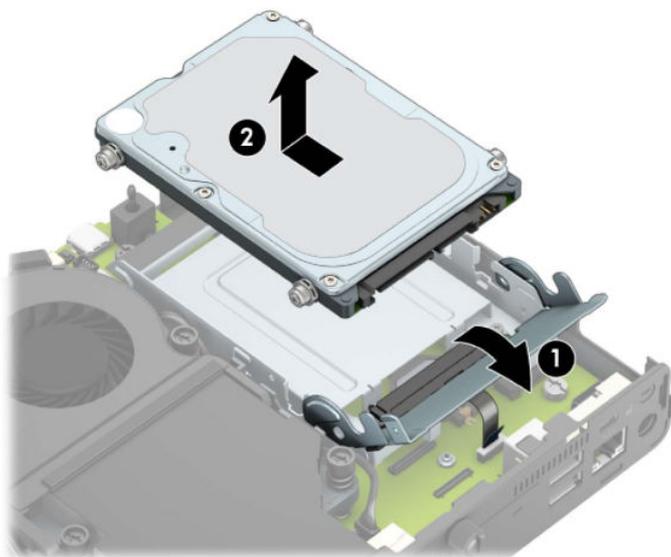
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターのアクセスパネルを取り外します。

手順については、[10 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。

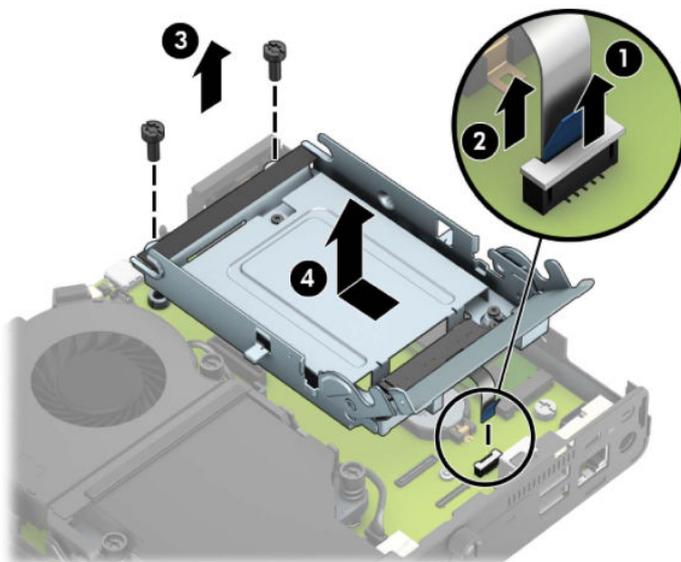
7. 電池にアクセスするには、お使いのモデルに応じてハードディスクドライブケースまたはグラフィックスプロセッサを取り外す必要があります。

ハードディスクドライブを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. ハードディスクドライブラッチを上方向に回転させて (1)、ハードディスクドライブをケースから外します。ハードディスクドライブをシャーシの後方にスライドさせ、ハードディスクドライブが止まったら、持ち上げてケースから取り外します (2)。

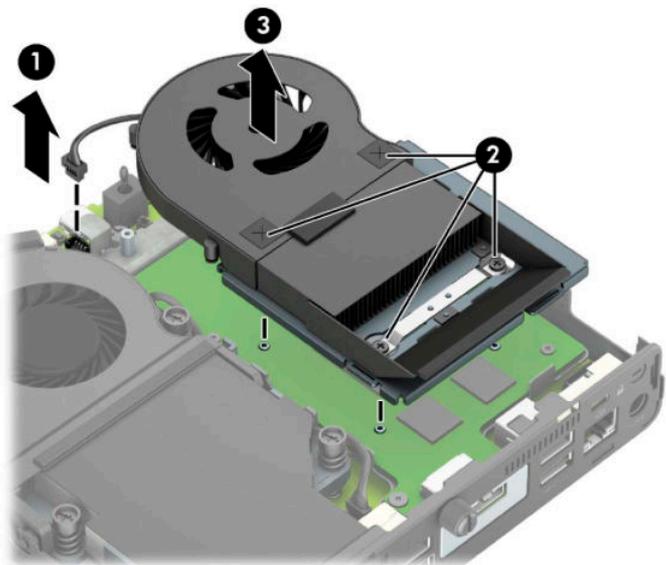


- b. ハードディスクドライブケーブルクランプをシステムボードのコネクタから取り外します (1)。ハードディスクドライブケーブルのプルタブを使用してシステムボードからケーブルを抜き取り (2)、ハードディスクドライブケースをシャーシに固定している 2 本のネジを取り外します (3)。ハードディスクドライブケースを後方にスライドさせ、持ち上げてシャーシから取り外します (4)。

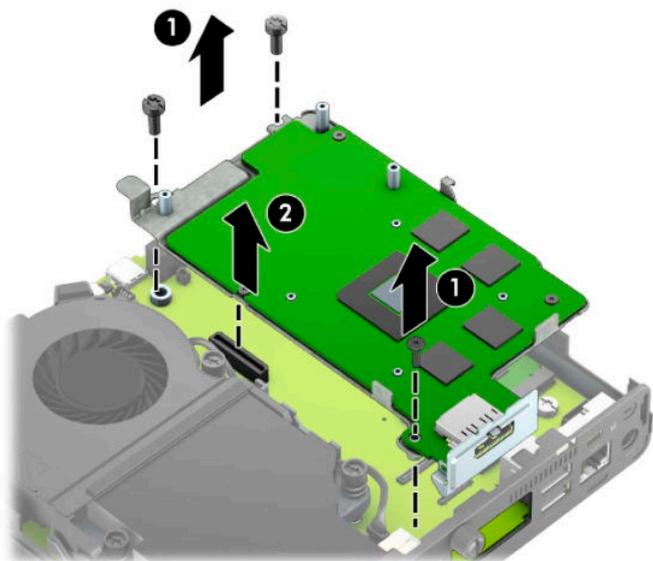


グラフィックスプロセッサを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

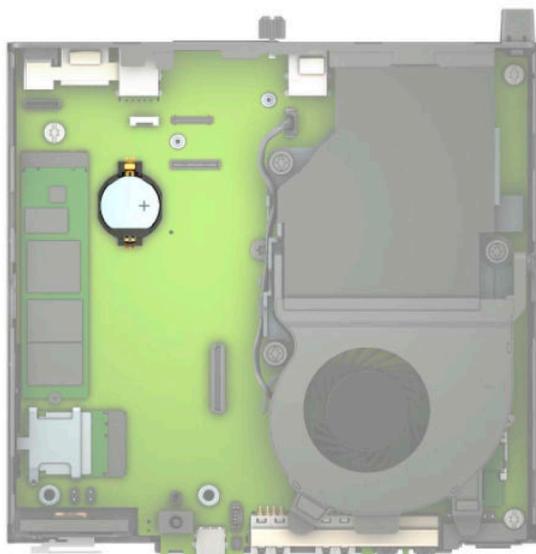
- a. ファンケーブルをシステムボードから取り外します (1)。ファンアセンブリの4本のネジ (2) を緩め、ファンアセンブリを持ち上げてシャーシから取り外します (3)。



- b. グラフィックスプロセッサをシャーシに固定している3本のネジを取り外し (1)、グラフィックスプロセッサを持ち上げて、シャーシから取り外します (2)。

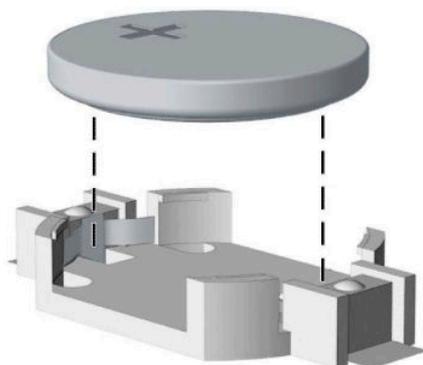


8. システム ボード上の電池および電池ホルダーの位置を確認します。



 **注記:** 電池の取り出しおよび交換には、ピンセットや小さいラジオペンチなど小型の工具が必要になる場合があります。

9. 電池をホルダーから持ち上げて外します。

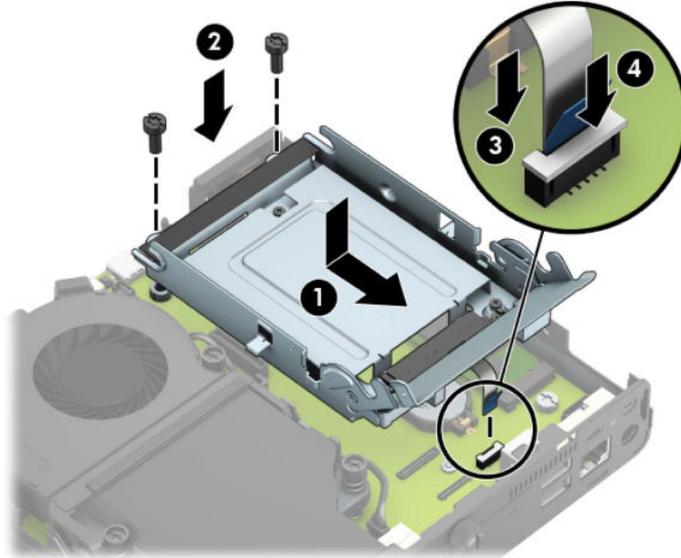


10. 交換する電池を、[+]と書かれている面を上にして正しい位置に装着します。電池は電池ホルダーによって自動的に正しい位置に固定されます。

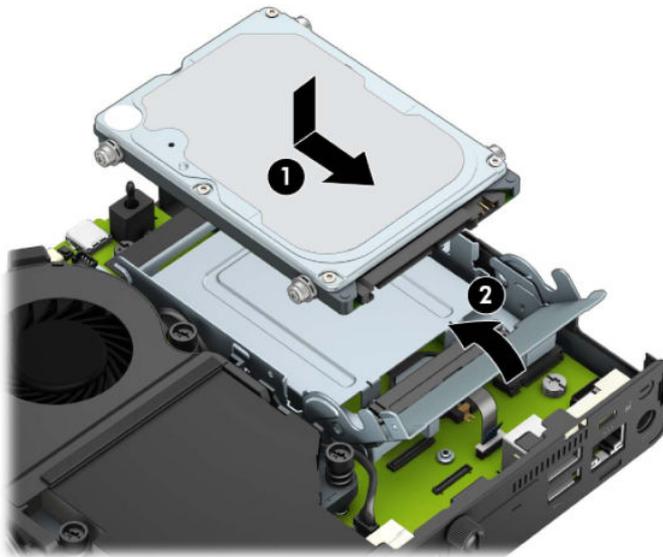
11. お使いのモデルに応じて、ハードディスクドライブケースまたはグラフィックスプロセッサを取り付けなおします。

ハードディスクドライブを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. ハードディスクドライブケースをシャーシに入れて、前方にスライドさせます (1)。2本のネジを取り付けてハードディスクドライブケースをシャーシに固定し (2)、ハードディスクドライブケーブルをシステムボードに接続します(3)。ハードディスクドライブケーブルクランプをシステムボードのコネクタに取り付けて、ケーブルを固定します (4)。

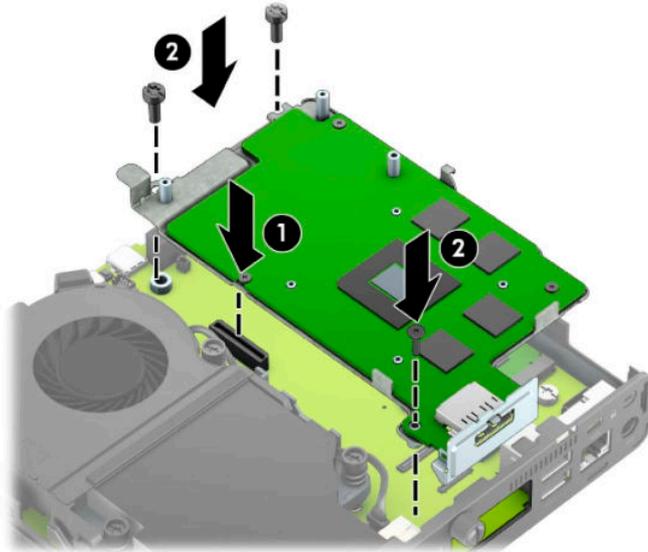


- b. ハードディスクドライブの取り付けネジの位置をハードディスクドライブケースのスロットの位置に合わせてから、ハードディスクドライブを押し込んでドライブケースに差し込み、前方にスライドさせます (1)。次に、ハードディスクドライブラッチを下方向に回転させて (2)、ハードディスクドライブを取り付けます。

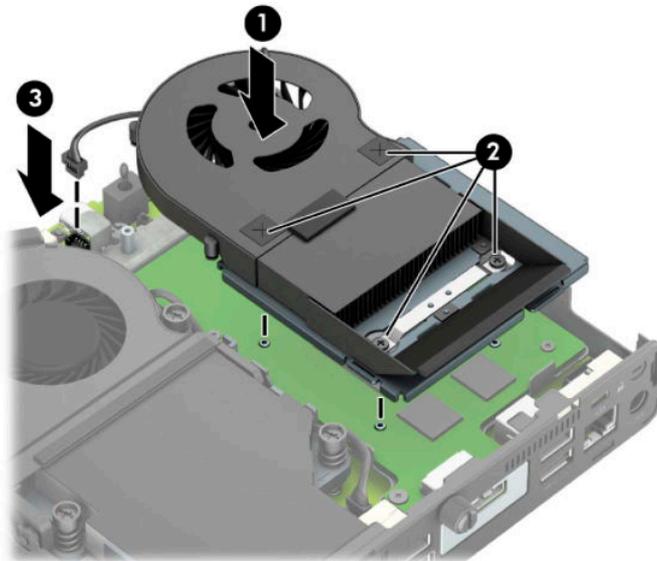


グラフィックスプロセッサを搭載したモデルの場合は、以下の操作を行います。

- a. システムボードと接続されるようにグラフィックスプロセッサをシャーシに入れて (1)、グラフィックスプロセッサをシステムボードに3本のネジで固定します (2)。



- b. ファンアセンブリをグラフィックスプロセッサの上に置きます (1)。ファンアセンブリを4本のネジ (2) で固定し、ファンアセンブリケーブルをシステムボードに接続します (3)。



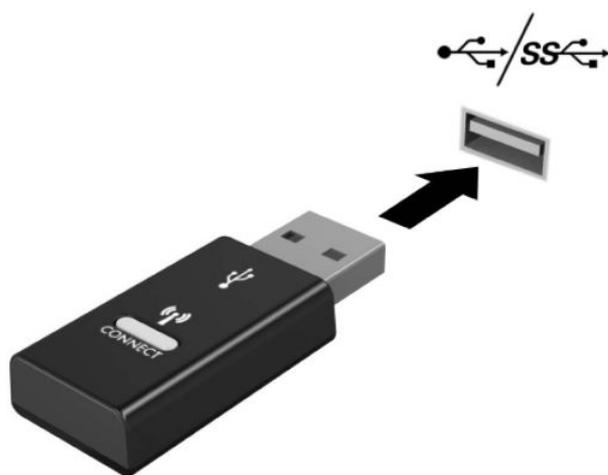
12. コンピューターのアクセスパネルを取り付けなおします。
13. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
14. 電源コードを差し込んでコンピューターの電源を入れます。

15. コンピューターのアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。
16. [コンピューター セットアップ (F10) ユーティリティ]を使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステム セットアップを設定しなおします。

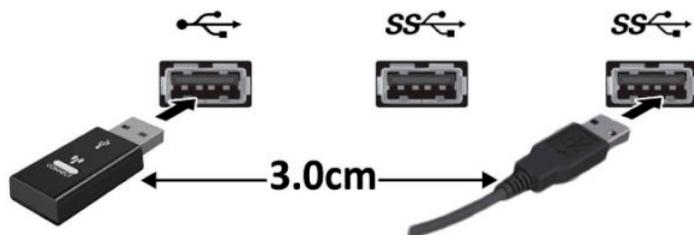
オプションの無線キーボードおよびマウスの同期

マウスおよびキーボードは工場出荷時に同期されています。これらが動作しない場合、電池を取り外して交換します。それでもマウスおよびキーボードが同期されない場合は、以下の操作を行って、ペアリングを手動で同期しなおしてください。

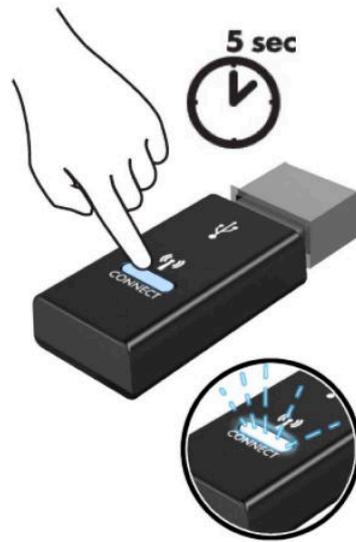
1. レシーバーをコンピューターの USB ポートに接続します。お使いのコンピューターに USB SuperSpeed ポートしかない場合は、レシーバーを USB SuperSpeed ポートに接続します。



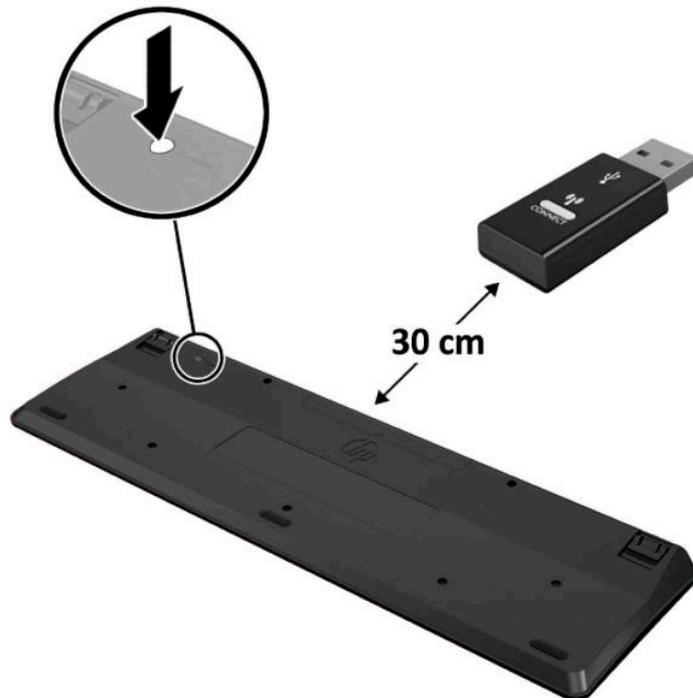
2. USB SuperSpeed デバイスの信号が干渉しないようにするには、レシーバーを USB SuperSpeed デバイスから少なくとも 3 cm 離します。



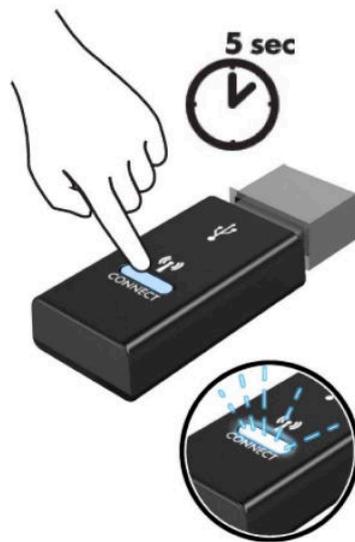
3. レシーバーの接続ボタンを約 5 秒間押し続けます。接続ボタンを押すと、レシーバーのステータスランプが約 30 秒間点滅します。



4. レシーバーのステータスランプが点滅している間に、キーボードの底面にある接続ボタンを 5~10 秒間押しします。接続ボタンを放すと、レシーバーのステータスランプの点滅が止まり、デバイスが同期されていることが示されます。



5. レシーバーの接続ボタンを約 5 秒間押し続けます。接続ボタンを押すと、レシーバーのステータスランプが約 30 秒間点滅します。



6. レシーバーのステータスランプが点滅している間に、マウスの底面にある接続ボタンを 5 ~ 10 秒間押します。接続ボタンを放すと、レシーバーのステータスランプの点滅が止まり、デバイスが同期されていることが示されます。



 **注記：** それでもマウスおよびキーボードが動作しない場合は、電池を取り外して交換します。それでもマウスおよびキーボードが同期されない場合は、キーボードおよびマウスの同期をやり直してください。

A 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システムボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬時や保管時は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアース（接地）されている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

アース（接地）の方法

アース（接地）にはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピューターのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

 **注記：** 静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意

コンピューターおよびモニターの設置や手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。

- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- コンピューターは、安定した平らな場所に設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピューターの通気孔のある面およびモニターの上部に、少なくとも 10 cm の空間を確保してください。
- 内部への通気が悪くなりますので、絶対にコンピューターの通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロントパネルに立てかけることも、おやめください。
- コンピューターのアクセスパネルまたは拡張カードスロットのカバーのどれかを取り外したまま使用しないでください。
- コンピューターを積み重ねたり、互いの排気や熱にさらされるほどコンピューターどうしを近くに置いたりしないでください。
- コンピューターを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- コンピューター本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニター上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールするか有効にしてください。
- 以下の項目については、必ずコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてから行ってください。
 - コンピューターやモニターの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
 - コンピューターの通気孔やモニター上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずやほこりなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

運搬時の注意

コンピューターを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスクドライブのファイルを外付け記憶装置にバックアップします。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないように注意します。

 **注記：**ハードディスクドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管します。
3. コンピューターと外部装置の電源を切ります。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、次にコンピューターからも抜きます。
5. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜きます。

 **注記：**すべてのスロットに保護用部材がしっかりとはめ込まれていることを確認します。

6. お買い上げのときにコンピューターが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピューターとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。

C ユーザーサポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティングシステム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせるようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：** 特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザーガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

索引

V

VESA 準拠の取り付け穴 6

あ

アクセスパネル
取り付け 11
取り外し 10

う

運搬時の注意 53

き

キーボード
無線の同期 48

こ

コンピューター操作のガイドライン 52
コンピューターの取り付け 6

し

仕様、メモリ モジュール 12
シリアル番号の記載位置 4

せ

静電気対策、損傷の防止 51
製品識別番号の記載位置 4
セキュリティロック
取り付け 7
前面の各部 2

そ

外付けアンテナ
取り付け 35
ソリッドステートドライブ
取り付け 21
取り外し 21

た

縦置きへの変更 5

つ

通気のガイドライン 52

て

電源コードの接続 8
電池
取り付け 42
取り外し 42

と

取り付け
ガイドライン 9
コンピューターのアクセスパネル 11
セキュリティロック 7
外付けアンテナ 35
ソリッドステートドライブ 21
電池 42
ハードディスクドライブ 19
無線 LAN モジュール 28
メモリ モジュール 12, 13
取り外し
コンピューターのアクセスパネル 10
ソリッドステートドライブ 21
電池 42
ハードディスクドライブ 18
無線 LAN モジュール 28
メモリ モジュール 13

は

ハードディスクドライブ
取り付け 19
取り外し 18
背面の各部 3

ま

マウス
無線の同期 48

む

無線 LAN モジュール
取り付け 28
取り外し 28
無線キーボードおよびマウスの同期 48

め

メモリ モジュール
最大 12
仕様 12
スロット 12
取り付け 12, 13
取り外し 13

ゆ

ユーザー サポート 54